

Topics of the month

小国町杖立温泉郷の 災害復旧・復興に向けた eスポーツイベントを開催しました



▲イベントを主に企画した熊本銀行ソリューション営業部内田主任調査役(左)、熊本日日新聞社ビジネス開発局開発部上田次長

2020年7月の熊本豪雨災害では熊本県阿蘇郡小国町の杖立温泉郷も歴史的被害を受けました。杖立温泉観光協会はこの未曾有の被害から創造的復旧に向けて前進するために、熊本銀行・FFGビジネスコンサルティングと熊本日日新聞社とともに「e湯でeスポ」を企画し、観光庁の「被災観光地の誘客多角化・収益力

向上事業」に採択されました。今回の豪雨水害や2016年の熊本地震から新たな復興を果たすためには、域外へ杖立温泉郷の名を響かせることが必要で、そのために地元が一体となった取り組みやプロモーションが欠かせません。本事業は、地域が一体となり杖立温泉会館を発信拠点とし、オンラインイベント



▲杖立温泉には感染防止を図った多くの参加者が集結



▲温泉会館内のメイン会場

も同時開催することになりました。現地での対戦イベントはYouTubeで実況配信し、対戦の合い間には杖立温泉PR動画を挟むことで杖立温泉の復興を伝えます。

本イベントは当初、公募による競技者の現地参加を予定していましたが、東京都に緊急事態宣言が発令された時期と重なり、熊本県も独自に緊急事

態宣言が発令されたことを踏まえ、やむなく公募は断念し、オンライン型イベントおよび現地でのモニター参加のみの開催となりました。

オンラインイベントは3部構成とし、1部は格闘ゲーム「鉄拳7」。世界王者と認定プロ2名とのオンライン対戦を実施し、対戦の様様をYouTubeで配信しました。2部は大人

気バトルゲーム「フォートナイト」。こちらは小中学生のみの大会とし49組98名が参加しました。こちらもYouTube配信を行っています。3部はこちらも大人気バトルゲーム「荒野行動」。5人1チームでのチーム戦を行い、40組200名が参加。その模様もまたYouTubeで配信しました。

この日のオンラインイベントの延べ参加者は500名を優に超え、実に募集枠の約4倍の応募があったことから、このeスポーツは限りない可能性を秘めていると感じました。杖立温泉郷がeスポーツを通じて知名度が上がり、若い人にとってオンラインゲームの聖地として観光の目玉となることが期待されます。



▲認定プロが集結した開会式



▲対戦の様子を放送席から実況



▲ゲームの合い間にはリラックスのため足湯も体験



▲部活動でeスポーツを行う高校生たちが観戦